



ichthyosaurus : イクチオザウルス

「魚竜の出産」

名誉院長 西 田 敬

始原胚細胞(primordial germ cells)の愛好家^{しげんはいさいぼう}を自認するMassimo De Felici*論文からの抜粋^{ばつ}。希臘^{ギリシャ}の哲人Plato(プラトン, BC427-347)はAristotle(アリストテレス, BC 384-328)と並んで、擢^{ぬぎん}でた人智^{にんち}の双壁^{じゆうへい}。彼は3000年以上も昔に、海^{うみ}豚^{いづ}が卵生^{らんせい}の魚類^{いさな}ではなく、歴^{れき}とした胎生^{たいせい}の獣^{けもの}である事^{こと}を喝破^{かつぱ}して居た。後生^{こうせい}の凡庸^{ぼんよう}なる動物学者^{どうぶつがくしや}達^{たち}が、遅^{おそ}蒔^まき乍^{ながら}も、此^この意見^{いけん}に賛同^{さんどう}するにはPlatoの没後^{ぼつご}3000年も要^なした事^{こと}に為^なる。

夫^それにしても海^{うみ}辺^べの苦屋^{くま}で日^ひがな一日^{いちにち}、浅^あいエーゲ海^{エーゲ海}を眺^{なが}める暇^{ひま}人^{ひと}でなけりや海^{うみ}豚^{いづ}の出産^{しゅたん}なんか目^めに出来^{でき}まい。火山^{かざん}島^{しま}やジャワ原^{つと}人^{ひと}などでIndonesia^{インドネシア}のJava^{ジャバ}は夙^{しやく}に有名^{ゆうめい}だが、この程^{ほど}、出^{しゅ}産^{たん}中^{ちゆう}の海^{うみ}豚^{いづ}の先祖^{せんぞ}を思^{おも}わせるichthyosaurus^{イクチオザウルス}の化石^{かせつ}が出土^{しゅつど}して更^あなる注^{ちゆう}目^{もく}を浴^{よく}びている。放射^{ほうしゃ}性^{せい}同^{どう}位^い元素^{もとそ}C-14^{すいそく}を駆^く使^しした年代^{ねんたい}の推^{すい}測^{そく}、carbon dating^{カーボンデイトング}では、1億^{いちい}7500万^{ななごひゃくごじゅうご}年前^{ねんぜん}の化石^{かせつ}と推^{すい}定^{てい}され^された。多^た少^{せう}の誤^ご差^さは避^よけられ^れないcarbon dating

法^{ぽう}であるが、この時間^{じんだい}差^さは甚^さ大^{だい}。流^{りゅう}石^{せき}のPlato^{プラト}先^{せん}生^{せい}の観^{くわん}察^{さつ}、思^し惟^いも、化^け石^{せき}に因^よる証^{しやう}明^{めい}では信^{しん}憑^{ぽう}性^{せい}の次^じ元^{げん}、説^{せつ}得^{とく}力^{りき}の桁^{けた}が違^{ちが}う。

娩^{べん}出^{しゅつ}の最^{さい}中^{ちゆう}に火^か山^{ざん}の噴^み火^まに見^み舞^まわれ^れたichthyosaurus^{イクチオザウルス}母^お子^こや不^ふ憫^{びん}、痛^{つう}恨^{こん}。その儘^{まま}、化^け石^{せき}と化^けしたと思^し惟^いされ^れる。仔^{けなげ}には健^{けん}気^きにも骨^{こつ}格^{かく}が完^{かん}成^{せい}。卵^{らん}生^{せい}(oviparity)なん^まか^かで^たい^せい^いな^んか^かで^はな^い、紛^{まご}う^か方^かな^き胎^{たい}生^{せい}(viviparity)。尾^びつ^ぽか^ら生^いま^れる海^{うみ}豚^{いづ}の出^{しゅ}産^{たん}を彷彿^{ふつ}。今^{いま}の厄^{やく}災^{さい}ま^では健^{けん}や^かな^る胎^{たい}内^{ない}発^{はつ}育^{よく}を遂^とげ^ていたに相^あ違^{ちが}ない。Carbon dating^{カーボンデイトング}に拠^よる誤^ご差^さは避^よけられ^れぬにせよ化^け石^{せき}による歴^{れき}史^し的^{てき}事^じ実^{じつ}の説^{せつ}得^{とく}力^{りき}はPlato^{プラト}先^{せん}生^{せい}の^{じんち}人^{にん}智^ちを遥^{はるか}に凌^{りやう}駕^がしたのである。

苟^{いやく}も人^{にん}類^{るい}の歴^{れき}史^しへ^の関^{かん}心^{しん}を持^もつなら、卵^{らん}細^{さい}胞^{ぼう}の素^{もと}であるprimordial germ cell^{プライマリアルジームセル}(始^し原^{げん}胚^{はい}細^{さい}胞^{ぼう})の由^ゆ来^{らい}に触^すれ^ずには済^すま^ない。これ亦^{また}、産^{さん}婦^ふ人^{にん}科^か医^いが最^{さい}も好^{こう}む^むテマ^{テーマ}であり、現^{げん}代^{だい}婦^ふ人^{にん}科^かの考^{こう}古^こ学^{がく}とも云^いえる。大^{だい}きく二^につ^つの視^し点^{てん}がある。先^まず、1)卵^{らん}巢^{さう}内^{ない}か^らの発^{はつ}生^{せい}か、次^{つぎ}に2)卵^{らん}巢^{さう}外^{がい}に由^ゆ来^{らい}する^{のか}、の2^に点^{てん}。日^{にっ}く性^{せい}腺^{せん}外^{がい}の卵^{らん}黄^{わう}囊^{のう}の壁^かに発^{はつ}生^{せい}する。或^{ある}は、嘗^{かつ}ては胚^{はい}上^{じやう}皮^ひと呼ば^よばれた如^{ごと}く(germinal epithelium)、卵^{らん}巢^{さう}の表^{ひやう}層^{そう}上^{じやう}皮^ひに由^ゆ来^{らい}する。加^かえて、出^{しゅ}生^{せい}後^ごにも卵^{らん}が発^{はつ}生^{せい}できるか否^{いな}か。従^{じゆう}来^{らい}通^{つう}り不^ふ可^かであれば更^な年^{ねん}期^き、閉^{へい}経^{けい}は避^よけられ^れない宿^{しゆく}命^{めい}と為^なる。何^{なん}等^らかの手^て段^{だん}、方^{ほう}策^{さく}で、出^{しゅ}生^{せい}後^ごでも卵^{らん}の^{しんせい}新^{しん}生^{せい}が可^か能^なと為^なれば(neo-oogenesis)、これぞanti-ageing。芽^め出^で度^たや!女^{にょ}性^{せい}は更^な年^{ねん}期^き、閉^{へい}経^{けい}或^{ある}は老^{らう}化^かなどの宿^{しゆく}命^{めい}的^{てき}な一^{いっ}連^{れん}の軛^くか^ら解^{かい}放^{ぱう}され^れる事^{こと}に為^なる。

*Felici HD Molecular Hum Reprod 16: 632-636, 2010

